

43 国際平和都市千代田区宣言30周年記念事業【新規】

第4次基本構想のめざすべき姿等			
基本構想の実現に向けて（（2）多様性を尊重し認めあう社会づくり）			
将来像に向けた方向性			
国際交流・協力や平和活動を推進する必要がある。			
事業概要	内容	令和7年3月15日に、「国際平和都市千代田区宣言」から30年の節目を迎えます。 令和6年度は、「国際平和都市千代田区宣言」の趣旨に基づき、区民等に向けて平和について考える機会を提供するとともに、特に未来を担う若い世代に向けて、平和意識の醸成と積極的な平和活動への参加の動機付けとなるようなイベントを開催します。イベントでは、アーティストや区内学生・団体による平和コンサート、著名人による平和をテーマとした朗読などを行い、平和の尊さ、大切さを感じられる機会とすることで、世界の恒久平和の実現に向けた積極的な行動を促していきます。	
事業費	予算現額	決算額	執行率
	8,837,000円	8,361,000円	94.6%
事業実績	○令和6年度実績 【国際平和都市千代田区宣言30周年記念式典】 （1）開催日：令和7年2月28日 （2）会場：ヒューリックホール東京（有楽町二丁目5番1号有楽町マリオン11階） （3）参加者数：延べ1,250名 （4）実施内容 第1部 式典・トークセッション ・千代田区平和事業の紹介 ・千代田区平和使節団団員による活動報告 ・平和トークライブ「平和について世代を超えて語り合おう！」 ・広島市長、長崎市長、日本原水爆被害者団体協議会（2024年ノーベル平和賞受賞）代表委員によるビデオメッセージ 第2部 平和コンサート		
実績を踏まえた評価・課題 令和8年度予算への対応	本事業は、国際平和都市千代田区宣言30周年記念事業のため、令和6年度で完了しました。 今後も世界の恒久平和を実現するために、様々な施策を推進していきます。		
所管課 地域振興部 国際平和・男女平等・人権課	決算参考書	194頁	R6予算の概要 110頁

44 千代田区定額減税補足給付金【補正予算】

第4次基本構想のめざすべき姿等

お互いに支えあい、誰ひとり取り残されることがなく、自分らしく、自立した生活を送ることができています。

将来像に向けた方向性

全ての区民の権利が尊重され、安心して健やかに日常生活を送れるための福祉サービスの提供が必要である。

事業概要	内容	物価高騰による負担増を踏まえ実施する所得税及び個人住民税の定額減税において、定額減税しきれないと見込まれる方に対し給付金（調整給付）を支給します。 【想定対象者数】5,500名 【定額減税可能額】 所得税分 3万円×（納税義務者本人＋扶養親族数） 個人住民税所得割分 1万円×（納税義務者本人＋扶養親族数） 【支給額】 （1）所得税分 定額減税可能額－令和6年分推計所得税額 （2）個人住民税所得割分 定額減税可能額－令和6年度個人住民税所得割額 ※（1）と（2）の合計額を1万円単位で切り上げた額を給付額とする。

事業費	予算現額		決算額	執行率
	（1）給付金	192,000,000円	149,110,000円	77.7%
	（2）事務費	27,749,000円	11,817,607円	42.6%

事業実績	○令和6年度実績 【給付実績】		
		実績	給付対象に対する割合
	給付対象者数	4,848名	
	給付数	4,510件	93.0%

※事務費については、システム開発業務委託及びコールセンター等業務委託の契約差金等により、執行率が低くなりました。

令和8年度予算への対応 実績を踏まえた評価・課題	令和7年度は、令和6年分所得税及び定額減税の実績額等が確定したのち、当初給付額に不足のあることが判明した場合には、追加給付を行います。 本事業は、時限事業であるため、令和7年度で完了となります。

所管課 地域振興部 コミュニティ総務課	決算参考書	194頁	R6予算の概要	-
---------------------	-------	------	---------	---

45 物価高騰対策区民の暮らし支援事業【補正予算】

第4次基本構想のめざすべき姿等

お互いに支えあい、誰ひとり取り残されることがなく、自分らしく、自立した生活を送ることができています。

将来像に向けた方向性

全ての区民の権利が尊重され、安心して健やかに日常生活を送れるための福祉サービスの提供が必要である。

事業概要	内容	物価の高騰が続く中、生活必需品の多くの品目で値上げが続いていることから、区民の生活にかかる負担を包括的に支援します。 令和6年12月17日に国の補正予算が成立し、追加で措置された「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、多様な店舗で利用可能なプリペイド型ギフトカードを配付することで、直接的かつ迅速に区民生活の安定を図ります。 1 対象者 (1) 令和7年3月17日現在において区の住民基本台帳に記録されている者 (2) その他区長が特に必要と認める者（DV等の被害を受けて区に避難している者） 2 交付内容 信販会社が発行するプリペイド型ギフトカード5,000円分を、区民1人につき1枚配付する。			
事業費	予算現額	決算額		執行率	
	490,720,000円	0円		0.0%	
事業実績	○令和6年度実績 事業スキームの構築に時間を要したため、令和6年度中の事業完了には至りませんでした（予算を令和7年度に繰り越しました）。				
令和8年度予算への対応 実績を踏まえた評価・課題	令和7年度は、夏頃から段階的にギフトカードを配付します。あわせて、アンケート調査を実施し、購入品目の傾向や利用満足度などを明らかにすることで、本事業の有効性を検証します。 なお、本事業は時限事業であるため、令和7年度で完了します。				
所管課	地域振興部 コミュニティ総務課 (コミュニティ政策担当課長)	決算参考書	196頁	R6予算の概要	-

46 内幸町ホール改修整備（基本・実施設計）【新規】

第4次基本構想のめざすべき姿等

伝統や歴史、文化芸術に触れ、受け継ぎ、学んでいくことで、心が豊かになっています。

将来像に向けた方向性

歴史、文化、芸術活動を身近に感じる機会を提供することが必要である。
（関連する主な分野別計画：千代田区文化芸術プラン（第四次））

事業概要	内容	文化芸術拠点施設の1つである内幸町ホールは、築後27年が経過し、設備の老朽化が進んでいることから、令和5年度は大規模改修工事に向けた現状調査等を実施しています。 令和6年度は、引き続き調査を行い、区民等の意見を聞きながら、基本・実施設計の中で、施設の平面プランや必要な機能を決定します。						
事業費	<table border="1"> <tr> <th>予算現額</th><th>決算額</th><th>執行率</th></tr> <tr> <td>36,062,000円</td><td>25,086,300円</td><td>69.6%</td></tr> </table>	予算現額	決算額	執行率	36,062,000円	25,086,300円	69.6%	
予算現額	決算額	執行率						
36,062,000円	25,086,300円	69.6%						
事業実績	○令和6年度実績 令和5年度の現状調査等を踏まえ、令和6年10月に基本・実施設計を完了しました。 ■施設の概要 整備地：内幸町一丁目5番1号 敷地面積：1,357.28㎡ 延床面積：1,903.63㎡ 主な改修内容：舞台・音響・照明・空調等の設備更新、楽屋側入口のバリアフリー化							
実績を踏まえた評価・課題 令和7年度予算への対応 令和8年度予算への対応	基本・実施設計に基づき、適切に改修工事を進めていく必要があります。 令和7年度は、令和8年度の供用開始をめざし、改修工事に着手します。 令和8年度は、区民等が演劇・音楽等の文化芸術活動を実践できる場として、ホールの供用を開始する予定です。							

所管課 地域振興部 文化振興課	決算参考書 196頁	R6予算の概要 105頁
-----------------	------------	--------------

47 会館施設予約システム【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

人とのつながりが感じられ、支えあうことができます。

将来像に向けた方向性

地域の伝統的、文化的活動が継承される必要がある。

事業概要	内容	現在、会館施設予約システムは、区民館、コミュニティスクール及びちよだパークサイドプラザの施設予約システムとして、空室状況の確認や施設利用の予約をオンラインで行うことができます。 令和6年度は、さらなる利便性の向上を図るため、施設利用の予約から使用料の支払いまで来庁せずに手続きが完結できるよう、オンライン手続きを拡充します。 また、現在は窓口や電話で予約や支払いを受け付けている学校施設においても、本システムの導入を進めます。
------	----	--

事業費	予算現額	決算額	執行率
	56,459,000円	52,453,555円	92.9%

事業実績

○令和6年度実績

(1) システムの設計及び機器の調達

オンライン決済に対応するためシステムの設計及びデータの移行作業を実施しました。また、システムのリプレイスに併せて新たに端末を配備し、システム環境の整備を行いました。

(2) システムの運用開始

令和6年12月より会館施設予約システムの本格運用を開始しました。これにより抽選申込から使用料の支払いまでを来庁せずに完結できるよう、オンライン手続きを拡充しました。

(3) 対象施設

区分	施設数	内訳
区民館集会室	11	麴町区民館、麴町集会室、一番町集会室 富士見区民館、九段上集会室、神保町区民館 神田公園区民館、内神田集会室、万世橋区民館 和泉橋区民館、ふれあい会館
コミュニティスクール	4	麴町小学校、富士見みらい館(富士見小学校) 神田さくら館(千代田小学校)、昌平童夢館(昌平小学校)
ちよだパークサイドプラザ	1	—
学校施設 小学校【追加】	3	九段小学校、お茶の水小学校、和泉小学校
学校施設 中学校【追加】	2	麴町中学校、神田一橋中学校

実績を踏まえた評価・課題 令和7年度予算への対応 令和8年度予算への対応	施設利用者のさらなる利便性の向上に向けて、対象施設を拡大することが重要です。 令和7年度は、令和6年度に引き続き、新システムの稼働に伴う従前のシステムとの違いなど利用者に分かりやすく丁寧な周知を行います。 令和8年度は、新システムによる対象施設の拡大を検討し、利用者の利便性の向上につなげていきます。
--	---

所管課 地域振興部 万世橋出張所	決算参考書	198頁	R6予算の概要	110頁
------------------	-------	------	---------	------

48 産業コミュニティ形成支援事業【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

活発な事業活動により、地域がうるおい、豊かな暮らしを享受できています。

将来像に向けた方向性

企業の持続的な成長によって地域を活性化する必要がある。
(関連する主な分野別計画：千代田区産業振興基本計画)

事業概要	内容 区内における新産業・スタートアップ振興の一環として、産業コミュニティ「千代田 CULTURE×TECH」を立ち上げ、参加企業間でのコミュニティ形成をオフライン・オンラインの両面から支援する取組みを推進しています。スタートアップ企業のみならず、区内企業、商工関係団体、教育機関・学生、金融機関など、関連ステークホルダー同士がつながる場を提供し、イノベーションの創出を図っています。 令和6年度は、コミュニティ内における各種イベントを実施するとともに、東京都が主催するアジア最大級のスタートアップイベント「SusHi Tech Tokyo 2024」に区内スタートアップ企業と共同出展することにより、コミュニティ参加者のさらなる振興につなげ、千代田のブランド力向上をめざします。				
事業費	予算現額	決算額	執行率		
	30,848,000円	30,247,700円	98.1%		
事業実績	○令和6年度実績 (1) 産業コミュニティ形成に係る各種イベントの実施 ①ミートアップ※ ¹ (全6回) ②学生アイデアソン※ ² (参加者：11名) ③ビジネスコンテスト (登壇：8社、参加者：64名) ※ ¹ ミートアップ：区内スタートアップ企業を始めとした異業種の交流会 ※ ² 学生アイデアソン：中高生が対話を基に自身のアイデアを形にするプログラム (2) デジタルツール (Slack) を活用したコミュニケーションインフラの運用 (3) 情報発信 (Webサイトの作成、SNS運用等など) コミュニティメンバー向けにSlack、Webサイト上でスタートアップ関連イベントや展示会情報、事業者インタビュー、活動報告等の情報配信を行いました。 (4) 「SusHi Tech Tokyo 2024」への出展 区内のスタートアップ企業3社と共同出展し、事業周知や事業者の販路拡大を支援しました。				
実績を踏まえた評価・課題 令和7年度の取組状況 令和8年度予算への対応	今後は「千代田 CULTURE×TECH」内での支援を充実させながら、コミュニティに所属するスタートアップ企業と区内企業の成長に資する取組みを実施し、さらなる地域の活性化をめざしていくことが必要です。 令和7年度は、既存の取組みの継続と、区内企業の成長に資する取組みを強化するため、アクセラレーションプログラム※ ¹ を実施します。また、新たな取組みとして区内企業の課題解決をめざしたオープンイノベーション※ ² 事業を実施します。 令和8年度は、オープンイノベーション事業の2年目として1年目採択企業の継続支援と新たな企業への展開を進め、区内産業の活性化をめざします。 ※ ¹ アクセラレーションプログラム：スタートアップ企業や起業家を支援し、事業成長を促進するプログラム ※ ² オープンイノベーション：自社だけでなく外部の技術やアイデアなどを活用しイノベーションを起こす手法				
所管課	地域振興部 商工観光課 (産業企画担当課長)	決算参考書	200頁	R6予算の概要	109頁

49 地域課題解決支援事業【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

活発な事業活動により、地域がうるおい、豊かな暮らしを享受できています。

将来像に向けた方向性

企業の持続的な成長によって地域を活性化する必要がある。
(関連する主な分野別計画：千代田区産業振興基本計画)

事業概要	内容	区は、東京都の UPGRADE with TOKYO 事業に参加し、スタートアップ企業の持つ新たな技術・手法を活用して地域の課題解決をめざす取組みを行っています。 令和6年度は、引き続き東京都とスタートアップ企業との協働により、デジタルマップを活用した地域の回遊性向上に向けた取組みを試行的に行います。 また、地域課題解決に資する取組みを検討し、人や関連企業を地域に呼び込み、まちのにぎわいの創出に向けて取り組みます。			
事業費	予算現額		決算額		執行率
	11,942,000円		492,580円		4.1%
事業実績	○令和6年度実績 (1) デジタルマップのコンテンツ作成 共立女子大学を始めとした区内連携大学と協働し、区内の観光おすすめスポットやルート取材し、デジタルマップに掲載するコンテンツを作成しました。 (2) デジタルマップの普及・啓発 区内の宿泊施設と連携し、(1)で作成したコンテンツについて、来訪者に対して周知を行いました。 (3) まちの印象に関するアンケート調査の実施 秋葉原地区を対象に、在住者や来街者に対して、まちの印象やまちに期待することについて、アンケートを実施しました。 ※新産業、特に千代田区との親和性が期待できるeスポーツの分野について、区内で開催されるイベント経費に対して補助を検討していましたが、しかし、庁内検討の結果、期待される効果とかかる費用が見合わないとの理由から、令和6年度は本事業を実施しないことになったため、執行率が低くなりました。				
実績を踏まえた評価・課題 令和7年度の取組状況 令和8年度予算への対応	地域固有の課題の解決には、区・東京都・スタートアップ企業のほか、区内ステークホルダーとの連携をさらに強化し、取り組んでいく必要があります。 令和7年度は令和6年度から実施中のデジタルマップに関する事業の効果測定を行い、今後の継続を判断します。 令和8年度は、令和7年度の検討結果を踏まえ、引き続き地域課題解決に資する取組みを推進していきます。				
所管課	地域振興部 商工観光課 (産業企画担当課長)		決算参考書	200頁	R6予算の概要 109頁

50 戸籍事務費【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

基本構想の実現に向けて（（１）変化の激しい時代への柔軟な対応）

将来像に向けた方向性

戸籍法改正の対応を的確に行うとともに、マイナンバーカードの活用を推進する必要がある。

事業概要	内容	マイナンバー法等の改正により、マイナンバーカードの海外利用が開始されることを踏まえ、公証された氏名の振り仮名をマイナンバーカードにローマ字表記するために、戸籍に振り仮名を記載する必要があります。 そこで令和6年度は、今後予定されている法施行に合わせてシステムの改修を行うなど、環境整備を進めます。 また、令和6年3月から戸籍証明書の広域交付が始まったことから、本籍地が千代田区以外の区民も、区の窓口で戸籍証明書が取得可能となりました。一方で、昼間区民の戸籍証明書の取得も想定されるため、交付手続きについて予約制を導入し、スムーズな交付を行います。			
事業費	予算現額	決算額		執行率	
	103,278,000円	87,645,373円		84.9%	
事業実績	○令和6年度実績 (1) 戸籍の振り仮名記載対応 戸籍システムへの振り仮名記載に関する追加機能の搭載及び振り仮名対応の特設窓口・コールセンター設置等に向けた準備を行いました。 (2) 戸籍証明書の広域交付 令和6年3月からの戸籍証明書の広域交付開始に伴い、昼間区民の戸籍証明書の取得が増加したため、交付手続きについて予約管理システムによる予約制を導入し、スムーズな交付を行いました。				
令和8年度予算への対応 実績を踏まえた評価・課題	令和8年5月以後を予定している戸籍への振り仮名の一斉記載に向けて、本籍人（千代田区を本籍地に登録している方）への振り仮名の通知を確実に送付できるよう、スケジュールどおりに進めていく必要があります。 令和7年度は、法施行に合わせて戸籍の振り仮名記載のための通知書の発送、特設窓口・コールセンターの開設、届出の受付、入力等を実施していきます。 令和8年度は、振り仮名の届出がなかった本籍人の振り仮名を一斉に戸籍に記載する作業を行います。				
所管課 地域振興部 総合窓口課		決算参考書	202頁	R6予算の概要	111頁

51 証明書コンビニ交付【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

基本構想の実現に向けて（（１）変化の激しい時代への柔軟な対応）

将来像に向けた方向性

戸籍法改正の対応を的確に行うとともに、マイナンバーカードの活用を推進する必要がある。

事業概要	内容	区は、平成31年2月から、全国のコンビニエンスストアの端末でマイナンバーカードを使用して、住民票の写し等の公的証明書を取得できるサービスを実施しています。
		マイナンバーカードを使用した端末（キオスク端末）からの公的証明書発行により、発行までの所要時間が短縮され、申請書の記入が不要となるほか、早朝や夜間、休日にも取得できるなど、利便性は大きく向上しています。
		そこで令和6年度は、既に導入している区役所本庁舎、麴町出張所、万世橋出張所に加え、残る全ての出張所にキオスク端末を設置します。窓口業務の迅速化・効率化を図るとともに、初めて端末を利用する方も安心して利用できるようサポートします。

事業費	予算現額	決算額	執行率
	58,566,000円	47,729,588円	81.5%

事業実績	○令和6年度実績			
	(1) キオスク端末の設置			
	令和6年7月に、新たに富士見出張所、神保町出張所、神田公園出張所、和泉橋出張所の4か所にキオスク端末を設置したことで、区役所本庁舎及び6出張所の窓口全てで均一のサービスを提供することが可能となりました。			
	(2) コンビニ交付端末証明書発行数及び交付率			
	証明書の種類	令和6年度 コンビニ交付 発行数	令和5年度 コンビニ交付 利用率	令和4年度
	住民票の写し	21,045通	42.3%	35.9%
	印鑑登録証明書	13,932通	46.4%	37.6%
	税証明書	3,952通	36.3%	27.5%
	戸籍全部(個人)事項証明書	13,606通	36.3%	27.0%
	戸籍の附票の写し	1,268通	16.9%	15.4%
	合計	53,803通	39.7%	31.6%

※コンビニ交付利用率＝コンビニ発行数／窓口含む全体発行数

令和8年度予算への対応	実績を踏まえた評価・課題	平成31年2月からコンビニ交付サービスの提供を開始し、利用率は年々増加しています。新たに設置した施設においても、初めて利用する方が不安なく操作できるようにサポートを強化し、コンビニ交付サービス利用のさらなる普及につなげ、区民の利便性を向上していくことが必要です。
		令和7年度は、マイナンバーカードの運用開始から10年目を迎え、満了更新対象者の増加に伴い、交付件数が増加見込みであるため、区民の利便性向上を目的として、キオスク端末を設置したことや窓口より割安に住民票等を取得できることを広く周知し、コンビニ交付利用を推進します。
		令和8年度は、令和7年度に引き続き、コンビニ交付利用の促進を図り、区民の利便性向上及び窓口業務の負担軽減に努めます。

所管課 地域振興部 総合窓口課	決算参考書	204頁	R6予算の概要	111頁
-----------------	-------	------	---------	------

52 文化芸術鑑賞事業【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

伝統や歴史、文化芸術に触れ、受け継ぎ、学んでいくことで、心が豊かになっています。

将来像に向けた方向性

歴史、文化、芸術活動を身近に感じる機会を提供することが必要である。
(関連する主な分野別計画：千代田区文化芸術プラン（第四次）)

事業概要	内容	区は、区民等が身近に文化芸術に触れる機会を提供するため、様々な文化芸術鑑賞事業を実施しています。 令和6年度は、東京国際映画祭との共催事業である「千代田シネマセレクション」について、ベビーカー等の出入りがしやすい会場で、子ども向け作品を上映し、親子が気軽に映画を親しめる機会を提供します。 また、「昼休みコンサート」を、現在の年2回から年4回の実施に拡充し、親子向けのプログラムも用意することで、千代田区に住み集う人々が気軽に参加できる鑑賞機会を提供し、文化芸術に触れるきっかけとします。
------	----	--

事業費	予算現額	決算額	執行率
	30,450,000円	28,413,967円	93.3%

事業実績

○令和6年度実績

千代田シネマセレクションにおいて、2会場で計7回実施した上映会のうち、親子向け作品の上映を2回行いました。鑑賞の際には、ベビーカーでの鑑賞をできるようにし親子での映画鑑賞を気軽に楽しめる機会を創出しました。

また、昼休みコンサートの開催回数を年2回から4回に増やし、前方に子ども専用席を設け、区に住み集う人々が気軽に参加できる鑑賞機会を提供しました。

(1) 千代田シネマセレクション（親子向け作品上映）

開催日	作品名	来場者数
令和6年9月29日	すみっコぐらし とびだす絵本とひみつのコ	204名
令和6年10月5日	アンパンマンが生まれた日／ハルのふえ	104名

(2) 昼休みコンサート

開催日	題名	来場者数
令和6年7月26日	ヴァイオリンが奏でる往年の映画音楽	143名
令和6年8月28日	～南国の楽器に触れてみよう！ 0歳からのスティーλπ演奏会～	115名
令和6年12月24日	江戸っ子オペラ歌手ブラザーズ、Xmasコンサート	191名
令和7年3月19日	“春の訪れ” 箏と尺八で奏でる古典～ポピュラーの名作	128名

令和8年度予算への対応	実績を踏まえた評価・課題 令和7年度の取組状況 幅広い世代が文化芸術を楽しめる機会を提供できるよう、親子が参加できる機会の拡大等、事業内容のさらなる充実を図っていく必要があります。 令和7年度は、引き続き千代田シネマセレクション及び昼休みコンサートにおいて、親子での芸術鑑賞機会の提供拡大に努めます。 令和8年度は、令和7年度に引き続き事業を効果的に推進し、千代田区に住み集う人々が身近に文化芸術を楽しめる機会を提供していきます。
-------------	---

所管課 地域振興部 文化振興課	決算参考書	206頁	R6予算の概要	106頁
-----------------	-------	------	---------	------

53 ちよだアーツスクエア改修整備（基本・実施設計）【新規】

第4次基本構想のめざすべき姿等

伝統や歴史、文化芸術に触れ、受け継ぎ、学んでいくことで、心が豊かになっています。

将来像に向けた方向性

歴史、文化、芸術活動を身近に感じる機会を提供することが必要である。
（関連する主な分野別計画：千代田区文化芸術プラン（第四次））

事業概要	内容	ちよだアーツスクエア（旧練成中学校）は、築後45年が経過し、施設の老朽化が進んでいることから、令和5年度は、大規模改修工事に向けた現状調査のほか、次期運営事業者の選定を行っています。 令和6年度は、次期運営事業者の意向も踏まえた施設の基本・実施設計を行い、区民等が文化芸術に親しみをもち、気軽に利用できる施設となるよう整備を進めていきます。			
事業費	予算現額		決算額		執行率
	77,367,000円		66,000,100円		85.3%
事業実績	○令和6年度実績 （1）次期運営事業者の選定 令和5年度実施の事業者選定が不調になった経緯も踏まえ、評価基準等を見直したうえで再度公募を実施しました。その結果、5団体から応募があり、選定手続きを経て、令和6年6月に事業者を選定しました。 （2）基本・実施設計 令和7年3月31日に施設の基本・実施設計が完了しました。 （3）施設の概要 ①整備地：外神田六丁目11番14号 敷地面積：3,945.58㎡ 延床面積：7,239.91㎡ ②主な施設機能 イベントスペース／ギャラリー、活動スペース（テナント）、音楽・動画配信スペース、体育館、屋上スペース、アートカフェ				
実績を踏まえた評価・課題 令和7年度の取組状況 令和8年度予算への対応	基本・実施設計に基づき、適切に改修工事を進めていく必要があります。 令和7年度は、施設内の備品等の整理を行うとともに、近隣住民、関係者に丁寧な周知を行いながら改修工事に着手します。 令和8年度も引き続き改修工事を進め、令和9年度のリニューアルオープンをめざします。				
所管課 地域振興部 文化振興課		決算参考書	206頁	R6予算の概要	106頁

54 (仮称) 新九段生涯学習館整備計画の検討【新規】

第4次基本構想のめざすべき姿等			
生涯にわたり学びやスポーツに親しむことで、充実した人生を送れるようになっています。			
将来像に向けた方向性			
区民が生涯学習・スポーツを主体的に行う機会を提供することが必要である。 (関連する主な分野別計画：千代田区文化芸術プラン（第四次）)			
事業概要	内容	九段生涯学習館は、生涯学習の振興を図るため、自主的かつ継続的な学習活動をしている区民のグループ、サークル等の団体が行う学習・研究・実習等の場であるとともに、文化芸術を通じた交流と、区民による創造・発信の拠点となっています。 現施設は、「九段南一丁目地区第一種市街地再開発事業」のエリア内に所在しています。 令和6年度は、当該再開発事業の進捗を見据え、子どもや障害者、高齢者等、全ての区民が自由に活動できる生涯学習・文化芸術活動の拠点として、新九段生涯学習館に求められる機能等の調査・検討を実施します。	
事業費	予算現額		執行率
	13,200,000円		90.7%
事業実績	○令和6年度実績 (1) 現施設に係る現況調査 現施設の用途や規模、利用実態等の現況の調査を行いました。 (2) 施設利用者等への意見聴取 施設利用者（登録団体・個人）及び施設未利用者へのアンケートや指定管理者へのヒアリング、利用者懇談会により、現施設に関する課題や新たな施設に関する意見を聴取しました。 (3) 新たな施設の機能検討 現施設の調査や施設利用者等への意見聴取を踏まえ、新たな施設における機能を検討するとともに他自治体施設の事例を調査しました。		
令和8年度予算への対応 実績を踏まえた評価・課題	新九段生涯学習館の整備にあたっては、再開発事業の進捗を踏まえつつ、子どもや障害者、高齢者等、全ての区民が自由に活動できる生涯学習・文化芸術活動の拠点をめざし、検討を進めていく必要があります。 令和7年度は、（仮称）新九段生涯学習館基本構想検討会を設置し、学識経験者や団体関係者等の意見を踏まえ、基本構想を策定します。 令和8年度は、基本構想を基に、基本計画を策定します。		
所管課	地域振興部 生涯学習・スポーツ課 (施設整備担当課長)	決算参考書	206頁 R6予算の概要 104頁

55 新スポーツセンター基本構想の策定

第4次基本構想のめざすべき姿等

生涯にわたり学びやスポーツに親しむことで、充実した人生を送れるようになっています。

将来像に向けた方向性

区民が生涯学習・スポーツを主体的に行う機会を提供することが必要である。
(関連する主な分野別計画：千代田区スポーツ振興基本計画)

事業概要	内容	区は、老朽化した現在のスポーツセンターについて、多様化する利用ニーズや社会環境の変化に対応した、誰もが利用しやすい新たな施設として整備するため、基本構想の策定を進めています。 令和6年度は、川沿いの立地を活かしながら、千代田区に住み、働き、学ぶ全ての人々が、交流を図りながら気軽にスポーツを楽しみ、生涯を通じた健康づくりに取り組めるスポーツ施設として整備するため、引き続き事業手法の検討等を行い、新スポーツセンターの基本構想を策定します。		
事業費	予算現額	決算額	執行率	
	31,394,000円	29,953,000円	95.4%	
事業実績	○令和6年度実績 (1) 近隣公共施設との連携に向けた検討 隣接する東京都千代田合同庁舎との合同整備に向けて検討し、東京都に協議書を送付しました。 (2) 新スポーツセンター基本構想に係る意見交換会の開催 学識経験者や団体関係者からなる意見交換会を開催し、新スポーツセンターのコンセプトや基本方針、建設地、事業手法等について意見を聴取しました。 (3) 新スポーツセンター基本構想の策定 意見交換会の内容を踏まえ、平成30年度に策定した新スポーツセンター基本構想(素案)を継承しながら更新し、新たなスポーツセンターの基本的な考え方や近隣公共施設との連携等を示す基本構想を策定しました。			
実績を踏まえた評価・課題 令和7年度予算への対応 令和8年度予算への対応	隣接する東京都千代田合同庁舎との合同整備に向けて検討を進めるとともに、東京都と協議を行う必要があります。 令和7年度は、東京都との協議を進めつつ、新スポーツセンター基本計画検討会を設置し、基本構想の内容を踏まえ、基本計画を策定します。 令和8年度は、基本構想に示したスケジュールを踏まえ、基本計画に基づき施設整備に向けた検討を進めます。			
所管課	地域振興部 生涯学習・スポーツ課 (施設整備担当課長)	決算参考書	208頁	R6予算の概要 104頁

56 スポーツ振興基本計画の改定【新規】

第4次基本構想のめざすべき姿等

生涯にわたり学びやスポーツに親しむことで、充実した人生を送れるようになっています。

将来像に向けた方向性

区民が生涯学習・スポーツを主体的に行う機会を提供することが必要である。
(関連する主な分野別計画：千代田区スポーツ振興基本計画)

事業概要	内容	区は、令和3年10月にスポーツ振興の実現により到達すべき千代田区の未来像として、「楽々いえスポ 元気にまちスポ いいね♪スポーツちよだ」を基本理念とする「千代田区スポーツ振興基本計画」を策定しました。 令和6年度は、令和7年度が本計画の最終年度となることを踏まえ、計画改定に向けた準備に着手します。子どもから高齢者、障害者など全ての人々が、区内在住・在勤・在学やスポーツの好き・嫌いに問わず、スポーツに親しむ環境を整備するため、広く区民等のニーズ調査を実施・分析するとともに、スポーツを取り巻く社会情勢の変化や政策動向を把握し、改定計画につなげていきます。		
事業費	予算現額	決算額	執行率	
	5,200,000円	3,239,500円	62.3%	
事業実績	○令和6年度実績 (1) 区民向けアンケート調査 スポーツに対する意識や実施状況及び区のスポーツ振興施策のニーズを把握するために、区民向けのアンケート調査を実施しました（対象者数：2,000人、回答者数：842人）。 (2) 関係団体向け調査 団体の活動状況などを把握するために、区内のスポーツ団体に対してアンケート調査及びヒアリングを実施しました（対象団体数：53団体、回答団体数：37団体）。			
実績を踏まえた評価・課題 令和7年度の取組状況 令和8年度予算への対応	健康志向の高まりや多様化するニーズに応えるため、現行の千代田区スポーツ振興基本計画を見直す必要があります。 令和7年度は、国の「第3期スポーツ基本計画」や「東京都スポーツ推進総合計画」を踏まえながら、社会情勢の変化や区民等のニーズを捉えたうえで、スポーツ振興基本計画を改定します。 令和8年度以降は、令和7年度に改定する計画に基づき、スポーツ振興施策を展開していきます。			
所管課 地域振興部 生涯学習・スポーツ課		決算参考書	210頁	R6予算の概要 105頁

57 図書館・図書館文化館事業運営（指定管理料）【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

伝統や歴史、文化芸術に触れ、受け継ぎ、学んでいくことで、心が豊かになっています。

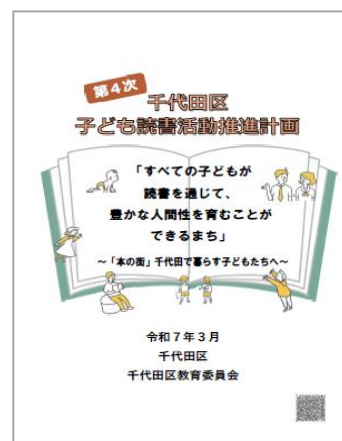
将来像に向けた方向性

歴史、文化、芸術活動を身近に感じる機会を提供することが必要である。

事業概要	内容	区立図書館は、指定管理者制度を導入し、管理運営を行っています。平成29年度からは、5館（千代田図書館、日比谷図書文化館、四番町図書館、昌平まちかど図書館、神田まちかど図書館）を一体的に管理し、各館の地域性や特色を活かした魅力あるサービスを提供しています。 令和6年度は、令和8年度の（仮称）四番町公共施設の竣工に向け、新四番町図書館の開館準備を行います。開館に向けて蔵書の充実を図るとともに、資料のＩＣタグ装備も進めます。ＩＣタグの装備により、スムーズな貸出・返却が可能となり、資料管理及び運用面でも効率化を図ります。					
事業費	予算現額		決算額		執行率		
	854,962,000円		836,844,414円		97.9%		
事業実績	○令和6年度実績 (1) 入館者数						
		合計	千代田図書館	日比谷 図書文化館	四番町図書館	昌平まちかど 図書館	神田まちかど 図書館
	令和6年度	1,286,684人	437,145人	556,037人	116,591人	70,617人	106,294人
	令和5年度	1,199,590人	394,278人	521,501人	116,609人	66,593人	100,609人
	令和4年度	1,022,355人	302,006人	450,469人	120,542人	59,832人	89,506人
	(2) 主なサービス及び事業実績						
		合計	千代田図書館	日比谷 図書文化館	四番町図書館	昌平まちかど 図書館	神田まちかど 図書館
	資料貸出	783,822冊	236,578冊	138,720冊	215,209冊	60,498冊	132,817冊
	館内展示	501回	64回	282回	84回	46回	25回
	セミナー・イベント	108回	25回	73回	9回	1回	-
おはなし会	75回	12回	-	51回	-	12回	
実績を踏まえた評価・課題 令和7年度 令和8年度予算への対応	(3) 新四番町図書館の開館に向けた取組み 新四番町図書館の開館に向け、蔵書数を増やす（前年度比約2,700冊の購入増）とともに、新規に購入する図書にはスムーズな貸出・返却を目的としたＩＣタグを貼付しました（約5,800冊）。						
	区立図書館の5つのコンセプトに基づき、利用者の視点に立ったサービス提供を心がけ、区民が安心して利用できる快適な環境の整備を行っていくため、指定管理者と緊密に連携していく必要があります。						
	令和7年度は、新四番町図書館の開館に向けて、地域にふさわしい図書館になるよう、引き続き指定管理者及び関係部署と連携して蔵書や備品、設備等に関する準備を進めていきます。 令和8年度は、令和7年度に引き続き、新四番町図書館でのサービス開始に向けた準備を行い、令和9年度の開館をめざします。						
所管課 地域振興部 文化振興課			決算参考書	210頁	R6予算の概要 107頁		

58 子ども読書活動推進計画の改定【新規】

第4次基本構想のめざすべき姿等			
伝統や歴史、文化芸術に触れ、受け継ぎ、学んでいくことで、心が豊かになっています。			
将来像に向けた方向性			
歴史、文化、芸術活動を身近に感じる機会を提供することが必要である。 (関連する主な分野別計画：第3次千代田区子ども読書活動推進計画)			
事業概要	内容	令和元年度の第3次千代田区子ども読書活動推進計画の策定以降、新型コロナウイルス感染症の流行や電子書籍の普及など、子どもの読書活動推進を取り巻く社会情勢は大きな変化を迎えています。 令和6年度は、これらの変化を踏まえ、家庭や学校等にとどまらず、地域全体で子どもの読書活動の推進を支えていくため、子ども読書活動推進計画を改定します。 世界有数の出版関連産業の集積地である区の特性を活かし、区内関連団体と協力・連携した事業展開のほか、デジタル社会に対応した読書環境の整備や、子どもの視点に立った読書活動の推進等についても検討していきます。	
事業費	予算現額	決算額	執行率
	5,597,000円	4,607,000円	82.3%
事業実績	○令和6年度実績 子どもの読書活動の推進に関する法律に基づく計画として策定している「千代田区子ども読書活動推進計画」を令和7年3月に第4次計画として改定しました。 (1) 子ども読書活動推進会議の開催 学識経験者、児童出版・書店関係者、読書推進団体関係者、保護者関係者、区内学校等関係者、区で構成される「子ども読書活動推進会議」を全6回(令和5年度中の2回を含む)開催し、これまでの進捗状況、アンケート等による現状の把握やその後の課題整理等を踏まえ、計画改定に向けた議論を行いました。 (2) 計画の改定に向けたWebアンケート調査の実施 従前から毎年実施している、区立小学校・中学校・中等教育学校(前期課程)の児童・生徒に対する子ども読書調査に加え、本計画の改定を目的に、区立中等教育学校(後期課程)の生徒及び区立小学校児童の保護者に対する子どもの読書に関するWebアンケート調査を実施しました。 (3) パブリックコメントの実施 令和7年1月20日～2月7日の期間で実施(意見者数：5名、意見：7件)		
実績を踏まえた評価・課題 令和7年度予算への対応	本事業は、計画を改定したため、令和6年度で完了しました。 今後は、改定した計画を踏まえ、図書館及び学校や子育て分野の関係機関を中心に、保護者や地域・事業者等とも連携を行い、読書を通じた豊かな人間性を育むことをめざして、取組みを推進していきます。		
所管課 地域振興部 文化振興課		決算参考書	210頁
		R6予算の概要	107頁



▲第4次千代田区子ども読書活動推進計画

59 図書のデジタル化【新規】

第4次基本構想のめざすべき姿等

伝統や歴史、文化芸術に触れ、受け継ぎ、学んでいくことで、心が豊かになっています。

将来像に向けた方向性

歴史、文化、芸術活動を身近に感じる機会を提供することが必要である。
(関連する主な分野別計画：千代田区文化芸術プラン（第四次）)

事業概要	内容	日比谷図書文化館特別研究室には、約16,000冊の内田嘉吉文庫のほか、古文書・絵図などの貴重な資料が収蔵されていますが、研究者以外の一般利用者が目にする機会が少ない状況にあります。 令和6年度は、今後の公開を見据えて、特別研究室の一部資料についてデジタルデータ化を進めます。 また、多くの人に見てもらえるような公開方法の検討を進め、区が有する他に類を見ない知的財産の活用を図ります。							
事業費	予算現額	決算額		執行率					
	10,014,000円	5,657,910円		56.5%					
事業実績	○令和6年度実績 (1)「千代田区立日比谷図書文化館におけるデジタル化推進計画」の作成 他自治体で既に導入しているデジタルアーカイブシステムの事例を調査するとともに、絵画や歴史資料の形態・状態に応じて最適なデータ化の方法について取りまとめました。また、区の図書・文化財のDX推進に向けた短期・中長期の取組みの方向性とロードマップを定めました。 (2)貴重図書のデジタル化 日比谷図書文化館特別研究室の貴重図書の高精細デジタルデータを作成しました。								
	<table><tr><td>内容</td><td>件数</td></tr><tr><td>大航海時代関連資料</td><td>281点</td></tr><tr><td>江戸大絵図</td><td>31点</td></tr></table> ※貴重図書デジタル化業務の契約差金により、執行率が低くなりました。				内容	件数	大航海時代関連資料	281点	江戸大絵図
内容	件数								
大航海時代関連資料	281点								
江戸大絵図	31点								
令和8年度予算への対応 実績を踏まえた評価・課題	デジタル化推進計画に基づき、高精細デジタルデータの公開方法について検討を進める必要があります。 令和7年度は、引き続き貴重図書についてデジタルデータを作成します。また、区民がより容易に図書や文化財の情報や画像を閲覧し、区の豊かな歴史や文化資源を気軽に親しめる環境を整えるため、デジタルアーカイブシステム等の導入に向けた検討を進めます。 令和8年度は、現行のホームページや収蔵品管理システムの課題を克服しつつ、高精細デジタルデータを活用して区の歴史や文化財に親しみやすいシステムの構築をめざします。								
所管課	地域振興部 文化振興課 (文化財担当課長)	決算参考書	210頁	R6予算の概要 108頁					

60 文化財のデジタル化【新規】

第4次基本構想のめざすべき姿等

伝統や歴史、文化芸術に触れ、受け継ぎ、学んでいくことで、心が豊かになっています。

将来像に向けた方向性

歴史、文化、芸術活動を身近に感じる機会を提供することが必要である。
(関連する主な分野別計画：千代田区文化芸術プラン（第四次）)

事業概要	内容	慎重な取り扱いが必要な浮世絵や古文書などの収蔵資料は、劣化しやすく、展示機会も限定されていることから、区民等が触れる機会や学術研究への活用が少なくなっています。 令和6年度は、大型図面や絵画について高精細スキャンによるデジタルデータ化を行うとともに、より多くの区民等が文化財に親しむ機会を創出するため、公開・活用方法の検討を進めます。 デジタル技術の積極的な活用により、資料の劣化や損傷を防ぎながら、歴史的価値を広く効果的に伝えていきます。											
事業費	予算現額	決算額	執行率										
	43,235,000円	33,284,384円	77.0%										
事業実績	○令和6年度実績 (1)「千代田区立日比谷図書文化館におけるデジタル化推進計画」の作成 他自治体で既に導入しているデジタルアーカイブシステムの事例を調査するとともに、絵画や歴史資料の形態・状態に応じて最適なデータ化の方法について取りまとめました。また、区の図書・文化財のDX推進に向けた短期・中長期の取組みの方向性とロードマップを定めました。 (2)文化財（絵画・歴史資料等）のデジタル化 大型で展示機会が限られている江戸城建築図面を始めとする各種図面や、区内神社所蔵の絵巻等の指定文化財についての高精細デジタルデータを作成しました。												
	<table><tr><td>内容</td><td>件数</td></tr><tr><td>大型図面</td><td>289点</td></tr><tr><td>絵巻・屏風</td><td>11点</td></tr><tr><td>錦絵</td><td>496点</td></tr><tr><td>竹久夢二コレクション</td><td>1,101点</td></tr></table>				内容	件数	大型図面	289点	絵巻・屏風	11点	錦絵	496点	竹久夢二コレクション
内容	件数												
大型図面	289点												
絵巻・屏風	11点												
錦絵	496点												
竹久夢二コレクション	1,101点												
令和8年度予算への対応	デジタル化推進計画に基づき、高精細デジタルデータの公開方法について検討を進める必要があります。 令和7年度は、引き続き文化財についてデジタルデータを作成します。また、区民がより容易に図書や文化財の情報や画像を閲覧し、区の豊かな歴史や文化資源を気軽に親しめる環境を整えるため、デジタルアーカイブシステム等の導入に向けた検討を進めます。 令和8年度は、現行のホームページや収蔵品管理システムの課題を克服しつつ、高精細デジタルデータを活用して区の歴史や文化財に親しみやすいシステムの構築をめざします。												
所管課	地域振興部 文化振興課 (文化財担当課長)	決算参考書	210頁	R6予算の概要 108頁									